

沼津市青少年教育センター

たより

平成28年7月号 No. 516

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

『教職員として日々磨きを掛ける』

学校教育課長 大川 淳

数年前、学校に勤務していた頃のことです。私の住む町は、バス通りに入るまでに、細い道路を何度も曲がらないとならない場所にありま。その一部は小中学校の通学路のため、午前7時から8時まで許可車両以外は通行禁止になります。当時、私は毎朝6時30分頃に家を出ていましたが、少し遅くなり7時近くになると、子どもが大勢通学する中を7時前に通り抜きたい自動車がスピードを速めて通るため、とても危険な状況でした。

ある日、いつもより遅く家を出ると、珍しく近所に住むAさんの自動車の後ろになりました。Aさんの自動車は、バス通りへ出るまで、ゆっくりゆっくり進みます。交差点に差し掛かるとびたっと停止し、他の自動車に出会った時には必ず先を譲ります。そして、再び、どのような飛び出しがあっても絶対に止まれるスピードで、そろりそろりと進みます。

通勤で急ぐ人が多い中、その運転は一際目立ちます。気付いたら、私の後ろに何台も自動車が連なっていました。これほど慎重な運転は、他では見たことがありません。

Aさんの職業はお医者さんです。「命を守り抜くのが仕事である医師として、自分が交通事故で人を傷付けることは100%あってはならない。」という無言のメッセージが、その運転から伝わってきました。私も、安全運転を心掛けているつもりだったのですが、朝はついつい先を急いでしまうので、Aさんの運転との出会いはショックでした。その朝は、学校に着くまで、Aさんと比べ、いかに自分の運転が身勝手なものであるかを振り返り、反省しながら運転しました。

翌日、Aさんとは出会いませんでしたが、バス通りまで、ゆっくりゆっくり自動車を進めました。「教職員は、子どもを育てる仕事に携わる者として、子どもの身体や心を傷付けることが絶対あってはいけません。だからこそ、どの子ども同様に一人の人間として尊重する言葉掛けや平等で温かな接し方等の人権感覚に日々磨きを掛けなければいけません。」と思いを新たに、学校へ向かいました。

現在は、教育委員会から、この思いを沼津市の小中学校に勤務する教職員1170人全員と共有できるように、各校の校長先生を通して呼び掛けています。沼津市の全ての小中学生が、安心安全な学校へ気持ちよく登校できるように。



パンザイ、カエルの力！

沼津市立片浜小学校長 藤井則久

4月後半のある日の朝です。低学年のAさんは友だちと登校しましたが、目に一杯涙がたまっています。児童玄関前で出会った私がどうしたのかと尋ねても、Aさんは黙ったままです。周りの子が「頭が痛いんだって。」と答えてくれました。担任の先生を呼び、対応してもらいました。



次の日の朝、Aさんはお母さんや友だちと登校です。でも、やっぱり目に一杯涙がたまっています。正門のところでついに動かなくなってしまいました。お母さんはものの陰から様子を見ています。友だちが「学校に入れたら、お母さん喜ぶと思うよ。」「私もそうだったよ。」(上級生です)と声をかけてくれますが、Aさんは黙ったままです。そこで私が手を引いたときに重くはありましたが、一歩進みました。すかさず「わお〜、すごいなあ。みんな見た？今の一歩！」「見た見た、すごいじゃん。」と私や友だちたちがいいました。相変わらず黙ったままですが、Aさんは少しずつ歩いて玄関まで向かうことが出来ました。明日はどんな声をかけようか、思案する私です。

翌日もお母さんと友だちと登校です。お母さんは正門のところまで一緒に来ると、そのまま戻っていきました。Aさんは私と手をつないで、昨日ほどではありませんでしたが、やはり多少重い足取りで、一歩踏み入れました。そのときでした。「校長先生、オタマジャクシがいるよ。足が生えるし。」とひとりの子がいいました。みんなでのぞき込んだり、手にしようと水の中に手を入れたり触ったりしました。その輪に違和感なく入っているAさんがいました。



次の日、今日はおばあちゃんと登校です。おばあちゃんは正門のところで、一声かけて戻られました。私がAさんの手を引いて一歩入ったところで、友だちが「校長先生、オタマジャクシどうなったかな。」といいました。自然にその場所にみんなが移動です。Aさんの足も自然とそちらに向かいます。みんなでのぞき込んだときに、「あ、いた。」との声。それはAさんでした。続けて「足が出てる。」とも。あれあれ、初めて声を聞きました。足の生えた小さなカエルに手を伸ばしています。しばらくみんなで観察会です。その後の玄関までの足

取りはいつになく軽やかでした。

次の日、一緒に子どもたちの登校を見てくださっているボランティアの方が、「今日は、Aさんは子どもだけで来ていますよ。」と教えてくれました。本当だ、しかも、友だちと一緒にすーっと正門を通過しました。そして、あのカエルたちのところに行つてのぞき込んでいます。

いや〜、子どもを動かすものは、意外なものです。私たち大人が必死になって子どもの気持ちを何とかしようと思っていたのに、あの小さなカエルがAさんにエネルギーを注ぎ込んだのかなと思います。お家の方や学校の職員も、Aさんにいろいろ工夫して関わったと思います。それはとても大切なこと。でもそこにひょんな事から登場した小さなカエルたち。今更ながら人間は自然の中に生かされているのだなと感じました。これから、そのカエルたちはどんな子にエネルギーを注いでくれるのだろう、Aさんはどんなものからエネルギーをもらうことになるのだろう、そんなことを思いながら、今日は手を引くことがなかったことを寂しく思いつつも、心はほっこりする朝でした。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：TEL 951-3440

平成28年4月・5月・6月の状況

4・5・6月には新たに申込みがあった14件（4月0件、5月9件、6月5件）を含め、42件（延べ相談回数208回）の相談に応じました。

1 相談内容別新規相談件数

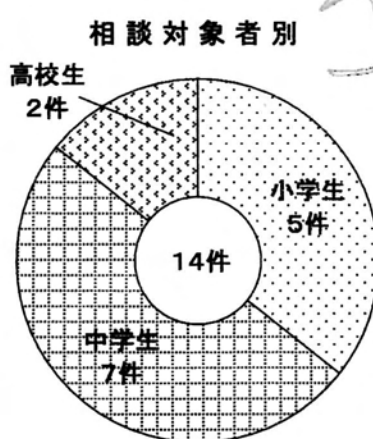
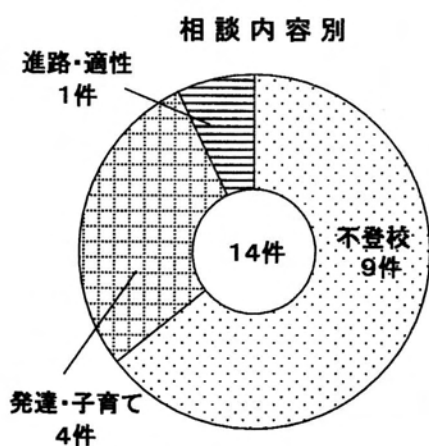
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	7	2	0	0	0	9
6月	0	2	2	1	0	0	5

2 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	3	4	2	0	0	9
6月	0	2	3	0	0	0	5

3 今年度の新規相談受付状況

受付件数 14件 （前年同期 17件）



4 4・5・6月の相談件数（新規及び継続）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		3	6				9
	女		3	2				5
中学生	男		9	2	1			12
	女		11					11
高校生	男		2					2
	女		3					3
少年	男							0
	女							0
一般成人	男							0
	女							0
計	男	0	14	8	1	0	0	23
	女	0	17	2	0	0	0	19
男女合計		0	31	10	1	0	0	42

5 4・5・6月の相談回数（42件の相談延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
4・5・6月	男	97	18	5	120
	女	69	10	9	88
	計	166	28	14	208

6 相談指導学級の様子

本年度は通級者2人（中学2年生1人と中学3年生1人）で開級しました。

学級では、基本的に午前中は活動を2コマ、午後はふれあいのためのフリータイムと活動1コマという日課になっています。各人が自分で計画を立て、それに沿って活動しています。毎週木曜日は体験活動の日として、ハイキングや創作活動、調理実習、農園体験などを行っています。どの活動も充実感・達成感等が十分味わえる活動です。

また、今年から屋上でプランター菜園を作り、トマト、イチゴ、トウモロコシ、メロンなど様々な野菜を育てています。種まき、水やり、芽かきなど、作物の世話をしながら土に触れたり、植物の様子を観察したりして、成長や収穫の喜びが感じられる取り組みをしています。

この5・6月は、高原教室や修学旅行などの学校行事の準備をし、計画どおりに参加するといった、学校復帰をめざした積極的な取り組みが見られました。



電話相談



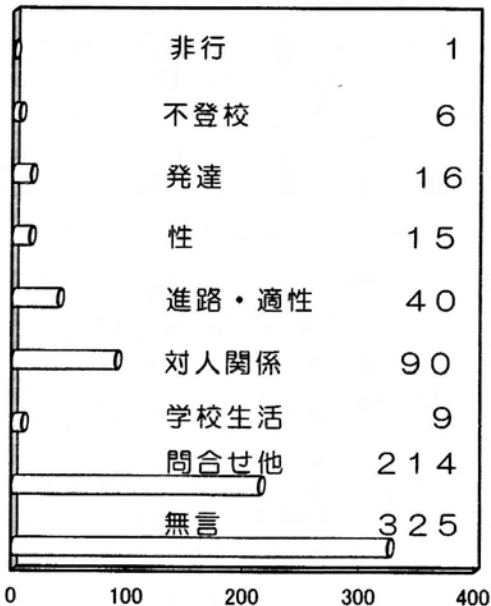
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など
 青少年に関する相談。
 ◎相談時間：午前10時～午後7時
 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成28年4・5・6月の状況

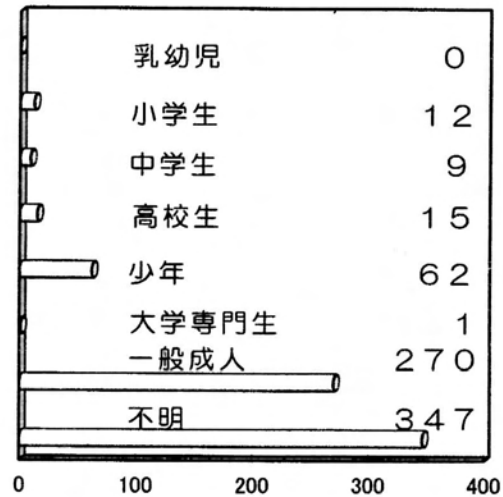
4月には334件、5月には230件、6月には152件の相談が寄せられました。（前年4月：180件、前年5月：153件、前年6月：248件）

1 4・5・6月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



2 今年度の電話相談受信件数状況(平成28年度)

総件数 716件（前年同期 581件）



(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	1	6	16	15	40	90	9	214	325

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	12	9	15	62	1	270	347



はじめは大人のぶち社会科見学

女性補導委員 持田茂美

月曜日の午前中の街頭補導委員を務めて5年。地区の役員さんから頼まれて、お引き受けしたのは、月曜日に仕事の休みが取れることと、ウォーキングをしたい自分との条件にあったからです。

お母さん達でチームを作って歩きました。向かった所が、ゲームセンター、映画館、漫画喫茶、パチンコ店など、私には初めて足を踏み入れるような所ばかりでした。

特に、漫画喫茶内は外からは見えず、テレビドラマでしか見たことないし・・・少々感激。これって私にとっての社会科見学かも！！最初はドキドキしながら入っていた私でしたが、通い慣れるにしたがって抵抗がなくなります。子供さん達も初めはドキドキワクワクしながら入った場所も慣れれば行きつけの遊び場。

ゲームセンターでの声かけは、ゲームを邪魔することになってしまうため、私にとっては勇気のいることでした。一度ですが、こんなことがありました。私服で耳にピアスを付けた3人組の男子達発見、たぶん高校生だろうな～と思いながら声かけを。最初のやり取りはこんな感じでした。「あの・・・高校生かな？」「俺ら中学生だよ。」「あっそう？どこの中学かな？」「〇〇中」こんなに迷うことなくはきはきと答える場合は、うそを言っていることが多く、この男子達は絶対に高校生だと思いました。初心者の私がかからかわれたのだと思います。こういう時でも、私たちの補導は、それ以上追及することを目的としていません。

ゲーセンには、朝からうざいおばちゃんちがパトロールしているってことを知ってもらい、広げてもらい、さらには行くのやめとこって思ってもらえればOKなんです。



1 少年補導委員の延べ参加人数（4月～6月）

	市職員	教員	女性 補導委員	母 親 補導委員	地区代表 補導委員	警 察	地 区 補導委員	総 数
4月	7	4	7	0	19	0	259	296
5月	3	6	0	4	0	0	307	320
6月	6	0	9	5	19	1	342	382

2 補導回数・補導状況（4月～6月）

	補 導 回 数				声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
4月	2	9	35	46	63	0	0
5月	0	8	34	42	112	0	0
6月	2	8	39	49	275	0	0

3 補導活動（4月～6月の累計）

補 導 回 数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
137	998	450	0	0

4 平成28年4月・5月・6月の街頭補導少年の学職別状況（中央・地区別補導）

本年度の補導がスタートして3か月が経過しました。
 昨年度と比べ、ゲームセンターへの入場者数は大幅に減少しました。心配される表れは、昨年のこの時期にはなかった不良交友が見られたことです。
 補導委員の皆様、今年も少年への温かい声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

区分	学職別		小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	累四月からの計
	性別									
飲	酒	男						1	1	1
		女								
喫	煙	男								
		女								
夜間はいかい		男			9				9	9
		女			10				10	10
不良交友		男		3	1				4	4
		女			1				1	1
怠学・怠業		男								
		女								
ゲームセンター入場		男	1	4	12	3			20	20
		女	3		13				16	16
パチンコ店入場		男								
		女								
カラオケ店入場		男								
		女								
自転車の暴走行為		男		1	1				2	2
		女			2				2	2
自転車の二人乗り		男								
		女								
自転車の無灯火		男		2	16				18	18
		女			5				5	5
危険な遊び		男								
		女								
その他		男	90	44	42	4	1		181	181
		女	99	40	42				181	181
計		男	91	54	81	7	1	1	235	235
		女	102	40	73				215	215
男女合計			193	94	154	7	1	1	450	450

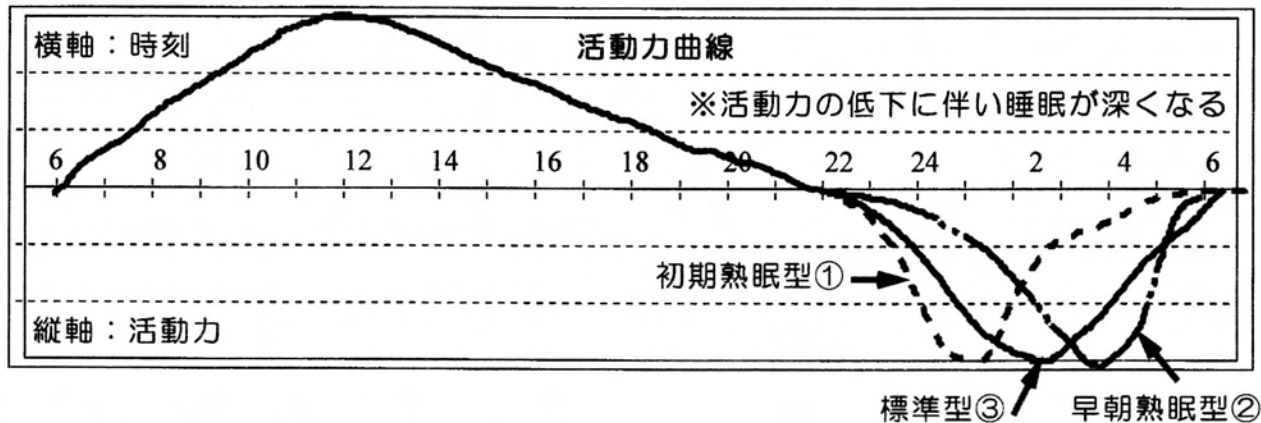
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	0
		女							0	0
他機関へ連絡		男							0	0
		女							0	0
男女合計			0	0	0	0	0	0	0	0

人間は誰しも「固有の睡眠パターン」を持っているといわれます。その睡眠パターンは、大きく3つに分類できます。

就寝するとすぐに熟眠状態となれる「初期熟眠型①」と、明け方近くにならないと熟眠状態を作り出せない「早朝熟眠型②」、そして、その中間的な「標準型③」です。多くの人はその標準型に属しますが、睡眠時間が多く取れない人は、必要感から、初期熟眠型に移行していくケースもあるそうです。それは、本能（生命維持機能）が働き、睡眠不足を補おうとするからです。

「睡眠」は活動力の低下している時間帯に熟睡できます。朝早い時間帯は初期熟眠型の人にとっては、眠りが浅く、活動力も上がってきているため深夜よりも効率的に活動できます。しかし、早朝熟眠型の人にとっては、活動力が下がってきているため睡眠に適した時間帯といえます。

いずれにしても睡眠は、人間にとってあらゆる活動、健康に影響を及ぼす大切な要素です。自分にあった効率的な睡眠を取る必要があります。それが、自己の能力を最大限に発揮することになります。「(自己の)睡眠パターン」を知ることは、効率的な睡眠を考える上でのポイントとなります。最も簡単な見分け方は、「目覚め」の状況を確認することです。早朝（5時頃）、機嫌よく起きることのできない人は「早朝熟眠型」に近いと思われます。



センターの活動予定

(8・9・10月の主な活動)

※天候による変更あり

はばたき		相談指導学級	
8月4日(木)	自然体験「源兵衛川探検」	9月1日(木)	源兵衛川散策
9月29日(木)	第2回チャレラン大会	9月8日(木)	農園体験
10月4日(火)	野外体験(1泊2日)	9月15日(木)	調理実習
5日(水)	「オータムキャンプ」	9月29日(木)	第2回チャレラン大会
10月26日(水)	自然体験「紅葉ハイキング」		(「はばたき」とともに)
9月9日(金)	第3回補導委員会代表者会		

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言(昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。